※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２２

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次 （体育科）
使用教科書	「高校生の美術１」　（日本文教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術の創作活動を通じて、完成を高めるとともに、様々な表現能力を伸ばし、美術を愛する気持ちを養うことを狙いとする。
・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと、目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習する。
・一人ひとり思いや見方、感じ方が違うので、表現方法の特性や形態・色彩・技法などについて着目して、自分なりの感じ方や表現を深める。また、違った見方を「鑑賞」で共有すると、さらに美術への興味関心が広がり、知識や能力も深まる。

２　学習の到達目標

美術の幅広い創作活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。
１、対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めるとともに意図に応じて表現方法を創意工夫し、造形的にあらわすことができるようにする。
２、造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題をせいせい創造的に発送し構想を練ったり価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
３、主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わう。多様な表現方法や、美術文化に関心を持つ。 主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組む。	感性や想像力を働かせ、感じ取ったこと、考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を決めて創造的な表現の構想を練る。 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ意図に応じて表現方法を工夫する。	美術作品などの表現の工夫や、芸術文化を理解する。 美術の良さや、美しさを創造的に味わう。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	模写・色彩を学ぶ・	・オリエンテーション ・教科書模写 教科書を鑑賞し、多様な表現方法を学ぶ。教科書の年表を見、芸術の流れを知る。 ・色彩を学ぶ。アクリル絵の具の特性を知る。 色を混色し、自分の色をつくる。	a:美術の多様な表現に興味をもち、これからの学習に意欲を高める。 b:美術作品の良さや美しさを感じ取り美術の働きや文化について理解を深める。 絵の具の特性を理解する。 c:絵の具を混ぜ、しっかりと塗ることができているか。 思った色が作ることができているか。教科書から、芸術の文化を学べたか。	教科書を読みこむ 画用紙による模写	色彩ワークシート	感想文 色彩ワークシート 制作の様子
		・イラストレーション 様々なヒントを元にイラストを描く。その後前半で学んだ絵の具の混色を利用する。 複雑な自分だけの色で着色する。	a:気軽な気持ちで絵画に向かう。 新しい発想を生み出す。 b:絵具を混色できたか。自分の色を作り出すことができたか。 c:友人の作品を互いに鑑賞しあう。	プリント イラストレーションシート	イラストボードによる、作品の仕上げ混色できているか	感想文 友人の作品を鑑賞する
2学期	動く姿の自分を粘土でつくる	・人物クロッキー ・鏡による自画像をかく。 前から、横から斜めから。 ・資料としてインターネットにより運動する人々の写真を集める。 ・アイデアスケッチを描く。 ・アイデアスケッチを参考に、粘土でかたちをつくる。 ・アクリル絵の具による着色 ・感想文をかく ・友人の作品を鑑賞し、感想文をかく。	a:人物の全体像をとらえる。 自分の顔を書いてみる。 b:インターネットを利用し、運動している写真を探す。さんこうにする。それらを元に下書きをする。粘土をバランスよくつけることができたか。混色した絵具で着色できたか。 c:自分の作品について感想文を書く。友人の作品を鑑賞し、感想を書く。	全身像をかけたか。自分の顔をあらゆる角度からかけたか。運動する人の写真を収集できたか	混色した絵具での着色ができているか。 粘土で動きのある作品が作れているか。	感想文 友人の作品感想レポート 制作の様子
	彫刻でネームプレート	・レタリングを学ぶ ・彫刻の使い方を学ぶ。 ・やすりの使い方を学ぶ。 ・立体的な彫刻を木彫によって学ぶ。表面には銅テープを張り、やすりをかけ、立体感をだす。 ・感想文をかく。 ・友人の作品を鑑賞し、感想文を書く。	a:レタリングのプリントをみながらおなじように書いてみる b:木にレタリングをカーボン紙で写し、彫刻刀で字の周りを彫る。 c:感想文を書く。友人の作品を鑑賞する。	制作の様子	作品 彫刻刀で丁寧に彫られているか。 銅テープを丁寧に張り付けることができているか	制作の様子 感想文 友人の作品の感想レポート

※令和４年度以降入学生用

３学期	スクラッチで世界遺産ともうひとつ。	・スクラッチボードに世界遺産を削る。プラス何かを付け加える。 ・アイデアスケッチ ・インターネットによる検索 ・下書きをカーボン紙でスクラッチボードに写す。 ・ニードルを駆使し丁寧に削っていく。数種類のニードルを使い、その特色にあった削り方を学ぶ。	a:世界遺産を調べる。絵にしたいと思える角度、デザインを考える。プラスするもの、（人間、動物、物、建物など）の配置を考える。 b:丁寧にニードルによってけずられているか。白と黒の分量が１：１になるように白の量をふやす。削り方に工夫があるか。（網掛けや、グラデーションなど） c:自分の作品の評価を感想文に書く。友人の作品を鑑賞し、良いところを探す。	学習活動の様子 世界遺産を調べることができたか。配置を丁寧に考えることができたか。	制作の様子 自分なりの工夫があるか。白黒の分量は適切か	作品 感想文 友人の作品の感想レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度